

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

御正忌報恩講

一月十五日(木) 午後二時より
十六日(金) 午前九時半・午後二時より
※ お勤め・法話共に、御堂ではなく、
ストロブで暖かくした広間にて行います



今号の法語



人は偶然を
求めるが、
必然に
気付かない。

内容・第十一期連続研修会(連研)募集!
・親鸞聖人の双六が活躍!
・福島へ支援米 く活動報告く
今年越しは除夜の鐘で♪



年の瀬のささやかな楽しみといえ、年末ジャンボ宝くじ。期待を胸に買い求めるのですが、結局三百円しか当たらずに損をするというのはよく聞く話です。私たちは「偶然(当選する)」を求めるのですが、「偶然」の世界の結果は、不思議なこと(???)とごく悲しい結果(ハズレ)に…。対して「必然」は、「必ず然るべき結果を導く」ということ。植物は水をやれば花を咲かせます。思いがけない「偶然」の世界とは違い、何でもない「当たり前」の世界だともいえるかもしれません。しかし「当たり前」に見える世界も、実は様々に不可思議な「縁(花では気候・土壌など)」によつて「必然」が生まれているというところに気付かせられます。

「必然」の世界を「当たり前」として受け取るのか、「実に不思議なことだ」と受け取っていくのか。たくさんの方の不思議な縁に包まれて、私たちの「いのち」は今日も生かせていただいています。

第11期連続研修会(連研)募集

時期 2015年3月～2016年8月 第二月曜日午後7時

※ 詳細は後日ご案内します

参加費 10,000円(二年間分)

締切 2015年2月28日まで

※※ 申し込み用紙は広済寺ホームページの
トップページよりダウンロードできます



来年三月から、いよいよ五位組連続研修会(連研)が始まります。この連研もおかげ様で第十一期を迎え、高岡教区全体としては三五六一名、広済寺の所属する五位組においては実に三二四名の方が修了されておられます。

連研では、真宗門徒としての基本的作法・お勤めを学ぶとともに、真宗のみ教えを身近

な問い(「あなたにとって仏様とお仏壇とは?」など)を例にして学んでいきます。

来年二〇一五年三月から翌二〇一六年八月までの、二年間に十二回(開講式と閉講式は別)のスケジュールで開催いたします。およそ月一回のペースとなる予定です(十一月・十二月・一月は休みの予定)。

参加費としては、二年間で一万円をお願いしております。これはお経の本といった教材も全て含めての費用となっております。

会場については、いくつかの五位組内の寺院を持ち回りで行います。全て広済寺から車で十分ほどの距離にあります。普段なかなか行くことのない他のお寺にお参りさせていただくのも、この連研ならではの

なもあみだぶつ

なもあみだぶつ



魅力です。

申し込み締切日は、来年の二月二十八日とさせていただきます。申し込み用紙がない方は、お手数ですが広済寺ホームページのトップページよりダウンロードしてください。

仏教とは、私たちに生きる意味を教えてくれるものです。先祖にお参りするというのももちろん大切なことですが、仏教は生きていく上でたくさんのことを私たちに教えてくれます。まずは、基本的なことから一緒に学んでみませんか?

双六しながらお念仏♪



婦人会でも懐かしい双六で盛りあがりしました



親鸞聖人の

双六が活躍！

遊びながら親鸞聖人の生涯を学ぶ。そんな双六があったので、今回皆で早速遊んでみました。

十一月の広済寺子ども報恩講の際に、初めて開封。双

六の中身をよく見ずに子どもたちに遊んでもらっていたのですが、しばらくすると……。子どもたちから「なもあみだぶつ！なもあみだぶつ！」とお念仏が！ビツ

クリして双六を見てみますと、どうやら比叡山での親鸞聖人の修業中の様子。お念仏を称えましょうというルールを見て、子どもたちは一生懸命に「なもあみだぶつ」と称えていたわけです。子どもたちの思いもかけないお念仏の声に有り難い思いがしました。

また広済寺仏教婦人会の忘

年会でも親鸞聖人の双六は大活躍！遊びながら親鸞聖人の生涯をたどらせていただく大変楽しい双六でした。皆が集まったときは、ぜひこの親鸞聖人の双六で遊んでみませんか？ご希望の方はお寺までご連絡ください。※一セット五〇〇円となっております。

福島へ支援米

活動報告

前号でお願いさせていたいただいた福島県相馬地域への支援米プロジェクトの活動報告をさせていただきます。

四年目を迎えた今回も、たくさんの方々から支援米が寄せられ、全部で五・九トンにもなりました。それらは五

キロごとに袋詰めされ、全村避難中の飯舘村の方々が暮らす仮設住宅や東北教区相馬組寺院を通じて避難生活中の門信徒に届けられました。皆さんのご協力によってこの活動は継続できております。本当に有り難うございます。

お知らせ

二〇一四年

除夜の鐘

十二月三十一日(水)

午後十一時四十五分より

二〇一五年

元旦会

一月一日(木)

午前五時より

御正忌報恩講

一月十五日(木)

午後二時より

十六日(金)

午前九時半より

午後二時より

御講師

砺波組 明覚寺

林 要昭 師

除夜の鐘

12月31日(水)

午後11時45分～0時45分頃

※撞いている間も出入り自由です。
いつでもお越しください。
本堂におられる阿弥陀様にもお参りしましょう。



広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※一月・二月は休会します

※月参りについて

一月一日・二日・三日の三

日間はお休みさせていただきます
(祥月命日は除く)。



編集後記

十二月二十五日から三日間、福島県飯舘村の方々が避難しておられるところへ、これで四回目となったお餅つきに行ってきました。福島第一原発事故の放射能汚染によつて避難を余儀なくされている方々。彼らは今もそれぞれに、原発事故という厳しい現実に向き合っています。

あの事故が起こった二〇一一年三月から三年九ヶ月。子どもたちの甲狀腺がんの疑いのニュースも先日報道されました。あの事故と向き合っているのは私たちと同じ大人だけではなく、原発のことは何も知らなかった、将来のある多くの小さな子どもたちもでした。

大人として、子どもたちに見えることは何なのか、何を伝えていかなければならないか、また私たちは何を残していくのか…。子どもたちは見えています。